

# 名戸ヶ谷ビオトープだより

第 77 号 2019 年春号

<http://nadogaya-biotope.com/>

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行

発行責任者：小笠原 智 Tel 080-2259-4415

## 名戸ヶ谷ビオトープの全景写真

名戸ヶ谷ビオトープの全景写真が撮れましたのでご紹介します。(2019 年 5 月篠崎氏撮影)



↑  
B ゾーン (自然観察地)

↑  
作業小屋

↑  
A ゾーン (水田)

## ヘイケボタル幼虫の放流

天気は晴れ、気温 16 度、北東からの冷たい風が吹いていました。定例活動日で会員 17 名と多くの参加で株踏み作業も順調に進みました。株踏み後の肥料蒔きも終わりました。又女性陣のお骨折りによる野草を食べる会もあって会員の皆様は美味しく頂きました。

当日、9 時過ぎに松清さんが飼育していたヘイケボタル幼虫、約 120 匹を A ゾーン - ホタル水路に放流しました。昨年とほぼ同数で、田んぼから餌のサカマキガイをとり放流付近へ放ちました。今年も 6 月是非発光を期待したいと思います。(藤平 三郎)



ヘイケボタル幼虫  
約 120 匹



水路へ放流

# 田植えの準備も重労働です 田植えは賑やかでした

3月と4月の合同活動日に稲株踏み、4月20日に元肥（バイオ有機肥料とカリ肥料）散布を行いました。4月30日から畔廻りと田んぼの中の草刈り、板均しで準備を進めました。5日の朝、会員の小川さんのトラックで藤心ライスセンターから苗を受け取り搬入、うるち田1、2番田の一部を植え、さらにもち田の草取りと均しをして名戸小の受け入れ準備をしましたが段取りが大変です。6日は田植え日とで近所の家族4組、会員と合わせて32名が参加して盛大な田植えになりました。慣れない田んぼで足を取られながらも楽しく作業ができました。うるち苗は柏産の「コシヒカリ」です（小笠原 智）



土手の八重桜が満開。株踏みは体力勝負です



田んぼ毎に肥料を計量して散布します



木道からママたちが応援していますよ



田んぼは深いですが頑張っています



緑地に白字で見やすくしました

## ビオトープ看板を 更新しました

東武バス車庫横に設置していた看板を更新しました。これを見てビオトープを見つけられるでしょう。（小笠原 智）

# 名戸小の田植えは楽しくできました

今年は例年より早い8日の田植えとなりました。伊堂寺校長はじめ5年生56名と引率先生、数名のお母さんが応援に来ました。昨年「増尾城址公園田んぼ」で経験しているとのことでしたが、久米幹事から「ビオトープ田んぼ」は深いこと、田植えのポイントについての説明を聞いて開始です。田んぼに入るのにためらう児童もいましたが、一旦入れれば

要領良くあっという間に植え切りました。ドロンコだらけの脚や手を洗うのがまた大変でしたが楽しい作業になりました。9月の稲刈りを楽しみに時々成長を観察しに来てください。

今年のもち稲は昨年と同じ、千葉産の「満月」です。(皇居の稲と同じ品種です)

(小笠原 智)



みんな田んぼに入ったね  
先生も挑戦しています



昨年の経験で田んぼに慣れているので  
田植えも上手です

# ホタル観察木道を延長し、野鳥観察スペースも造りました

ホタル水路に「ホタルの幼虫」を放流し、昨年は観察用の木道から6匹の発光が確認されました。ヤナギの下で多く見られたので水路沿いに木道を延長しました。先端には、休耕田に来るカルガモやシラサギを観察できるスペースを作り、オギで目隠しもしています。

(小笠原 智)



延長したホタル観察木道

# 春の生きもの観察会

5月18日（土）9:00～10:30 気温23℃ 晴れ  
雲が多い天気です。日差しも出て暑くもなく風薫る5月春の生きもの観察会を開催しました。

当日は定例活動日と一緒に多くの会員が参加し作業しました。

観察会の参加者は多く18名でうち児童は10名でした。事前に名戸ヶ谷小への依頼、掲示板に掲示、又ホームページを見て参加したなど様々でした。「下田の杜里山協議会」の会員の方々も参加です。

児童たちは用意された網とバケツを持って、ザリガニ釣り場や三角池などを回りアメリカザリガニ、カダヤシ、スジエビ、カナヘビな

ど捕まえて来ました。今回は水不足で、ザリガニ釣り場は干上がっていて、生きものは升枠の水の中に逃げ込んでいました。トンボや蝶などはあまり飛んでいません。

捕獲した生きものについて会員の高橋さん、高橋さんの知人である松尾さん（小学校教師）から詳しく説明がありました。外来種のこと、メダカとカダヤシの違い、アゲハ蝶の幼虫等、写真を見ながら聞き入っていました。父兄には「名戸ヶ谷ビオトープを育てる会」のパンフを渡し、生きものに触れての楽しい時間で無事に終了しました。こうした自然環境の大切さが芽生える事を期待です。（藤平 三郎）



生きものを探しています



水がなく升枠の中へ



写真、資料を使って説明です



カナヘビに見入っています

# 月例活動状況のお知らせ

2019年3月から5月までの会員の月例活動状況をお知らせします。

## 3月19日(土)

会員15名参加のもと、田植え準備の前段として圃場のカブ踏み作業を行いました。その他、ホタル生息場所の水路整備やヒメヘビイチゴ周辺の雑草の刈り取りを実施しました。



圃場のカブ踏み作業風景



ヒメヘビイチゴ周辺の雑草の刈り取り風景

## 4月20日(土)

18名の会員の参加がありました。この日も未済だった残りのカブ踏み作業の実施や肥料の散布を実施しました。皆で野草を摘んで天ぷらを揚げ試食をして楽しいひと時を過ごしました。



圃場のカブ踏み作業風景



肥料の散布風景



野草天ぷらの試食風景

## 5月18日(土)

会員12名参加して二手に別れ、Bゾーンの北側のヨシとミントの刈り取りを実施し、圃場では、もち田を中心に田植え後の植え直し作業を行いました。ウキヤガラ周辺のヨシの刈り取りも実施しました。  
(園田 廣満)



Bゾーン、ヨシ、ミントの刈り取り作業風景



Aゾーン、もち田の田植えの手直し作業風景

# 野草を食べる会 4月20日(土)

4月の活動日は作業と同時に「ビオトープの野草を食べる会」が催されました。

まずは株踏み作業を始める前に全員で野草の採集です。食べられる野草の説明の後、セリ、ヨモギ、クレソン、ギシギシ、タンポポ、ノビル、ヤブカンゾウ、フキ等など短時間にたくさんの食材が集まりました。

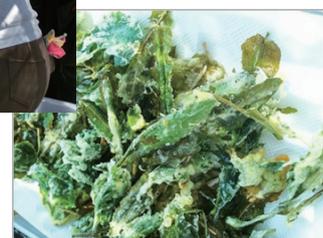
今年は調理台に風よけ板を取り付けていただき強風対策も万全。カセットコンロも2つ用意されました。湯沸しと揚げ物を同時にすることが出来て昨年より手際もグッと良くなり(?)、株踏み作業が終わるころには春の香りいっぱいの天ぷらとおひたしができあがりです。

休憩用のテーブルには持ち寄りのたけのご飯やきゅうりの漬物、わらびの煮物も加わり、野草料理を囲んでの会話が弾みました。

参加者17名。この季節ならではの楽しみが増えました。(山村和子)



セリのお浸し



天ぷら(なんの葉っぱでしょうか)

ヤブカンゾウのお浸し

## 新会員紹介

### 倉林 高嗣 さん (柏市新富町在住)

昨年の秋に会員の鈴木さんにお声掛けいただき、稲刈りを一度体験してみたく参加させていただきました。

ビオトープでの作業は未経験のことばかりで皆さんにご迷惑をおかけしますが、諸先輩方のご指導のもと、新会員として頑張っていきたいと思っております。



## 6~8月の活動予定

6月 ● 上旬 春の生態調査、加里肥料散布 ● 上、中、下旬 田の草取り、  
● 15日：6月定期活動日 ● 下旬 ヘイケボタルの観察会

7月 ● 上旬 穂肥散布 ● 20日 7月定期活動日

8月 ● 上旬 雀除けネット張り ● 17日 8月定例活動日 ● 下旬 ハザ作り

注) 詳細の日時と定例活動の具体的な作業内容等については事前に担当幹事からメールリングにてお知らせします。

### 名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか?

交通：柏駅東口より東武バス(5番乗り場)「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車  
面積：約4,400㎡ 湿性生物：57種 生きもの：161種(内、千葉県指定保護生物26種)

(2013年、年間を通じて観察した生きものの種類)